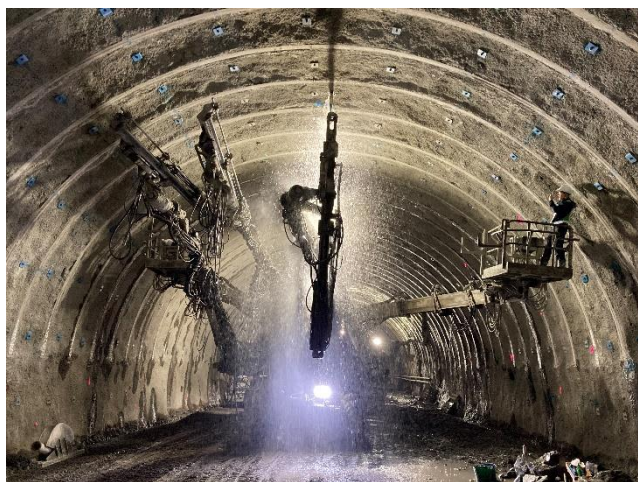




# NFJ コアビット

## ドリルジャンボ用吹付けコンクリートコア採取ビット

ドリルジャンボに取付けることで吹付けコンクリートの供試体を短時間で採取することができるコアビットを開発しました。



### NFJ コアビット導入による効果

#### ● サイクルタイムの短縮

吹付けコンクリートの供試体採取時間は、従来工法と比較し、約 85%短縮できます。

#### ● 安全性の向上

コアドリルを使用することがないため、巻き込まれ災害や感電災害が防止されます。

#### ● コスト削減

コアドリルを手配する必要がなくなるため、コストの削減が可能となります。

#### ● 施工品質の確認

トンネル壁面に吹付けられたコンクリートから直接供試体を採取することで、施工品質を直接確認することができます。

#### ● 汎用性

本ビットは各種メーカーのドリルジャンボロッドに取付けが可能なため、汎用性が非常に高いです。



## 供試体の採取状況

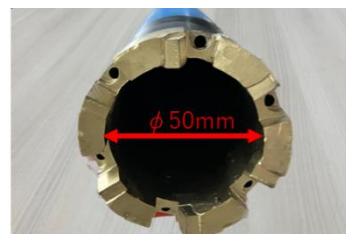
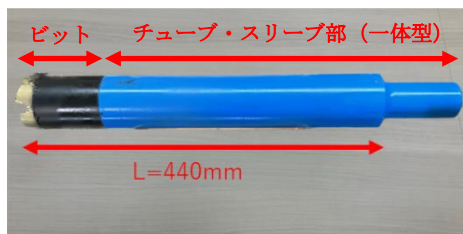
ドリルジャンボの回転エネルギー、削孔水压を活用して、供試体を採取します。ドリルジャンボの稼働範囲内であれば、どの角度からも供試体を採取することが可能です。



## NFJ コアビットの形状

重量は6 kg 程度のため、ドリルジャンボロッドへの脱着作業が容易です。

ビット部とチューブ・スリーブ部は切り離しが可能であり、ビットを交換してもチューブ・スリーブは再利用できます。



| 削孔径   | コア径   | 有効長    | 適用ネジ |
|-------|-------|--------|------|
| 70 mm | 50 mm | 440 mm | R 32 |

※適用ネジは現場でお使いのロッドに合わせて注文可能です。

## NFJ コアビットを用いて採取した供試体



NFJ コアビットで採取した供試体は、通常のコアドリルと同程度の一軸圧縮強度を確認しています。

## 供試体採取後のボーリング孔の活用



削孔径φ70と大きく、供試体採取後の孔壁は自立しているため、吹付け厚の確認も行えます。

## 施工時の取扱注意事項

- (1) 材齢が1日に満たない吹付けコンクリートからは供試体を採取できません。
- (2) コア採取時に打撃を加えると、供試体が柱状に採取されなくなります。
- (3) 金網設置箇所での供試体採取は、ビットの摩耗の原因となります。

《販売元》

**fujimori**

フジモリ産業株式会社

<http://www.fujimori.co.jp>

東京 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-23-7 (新宿ファーストウェスト 10F)  
 大阪 〒541-0045 大阪市中央区道修町 4-4-10 (KDX 小林道修町ビル)  
 東北 〒980-0014 仙台市青葉区中央 4-6-1 (SS30 3F)  
 九州 〒812-0027 福岡市博多区冷泉町 10-23 (博多冷泉町ビル 5F)

TEL: 03-5339-8531 FAX: 03-5908-0281  
 TEL: 06-6228-3864 FAX: 06-6228-3886  
 TEL: 022-263-1591 FAX: 022-223-0067  
 TEL: 092-262-8521 FAX: 092-262-6750